

兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 7号)

2021年12月16日発行
兵庫のに研究所

播磨灘全域において発生していた大型珪藻コシノディスカスは、今回調査では確認されませんでした。海域西部においては、小型珪藻キートセロスが多く発生しています。そのため窒素は、特異的に高い地点を除き、二見漁場以東の地先で5~6 $\mu\text{g-at/L}$ 台、大阪湾水の影響が見られる沖筋で概ね3~4 $\mu\text{g-at/L}$ 台でした。二見漁場以西では陸水の影響により特異的に高い地点を除き、概ね1 $\mu\text{g-at/L}$ 台に低下しています。

(水温) 漁場内平均15.3℃。平年より1.2℃、昨年より1.1℃高い。(塩分) 平均31.60psu。前回(31.40)より0.2psu高い
(栄養塩、珪藻) 減少傾向にあった大型珪藻コシノディスカスは、今回調査では確認されなくなった。そのため、海域東部においては栄養塩を消費する珪藻類がほぼ見られず、今回調査では栄養塩の値が高くなっている。
一方で高砂漁場以西ではキートセロス等が多く見られ、海域西部の栄養塩の値は低くなっている。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	15.7	15.3	14.1	14.2
窒素	3.5	4.4	6.0	2.6
リン	0.53	0.49	0.58	0.48

(12/10)

(12/17)

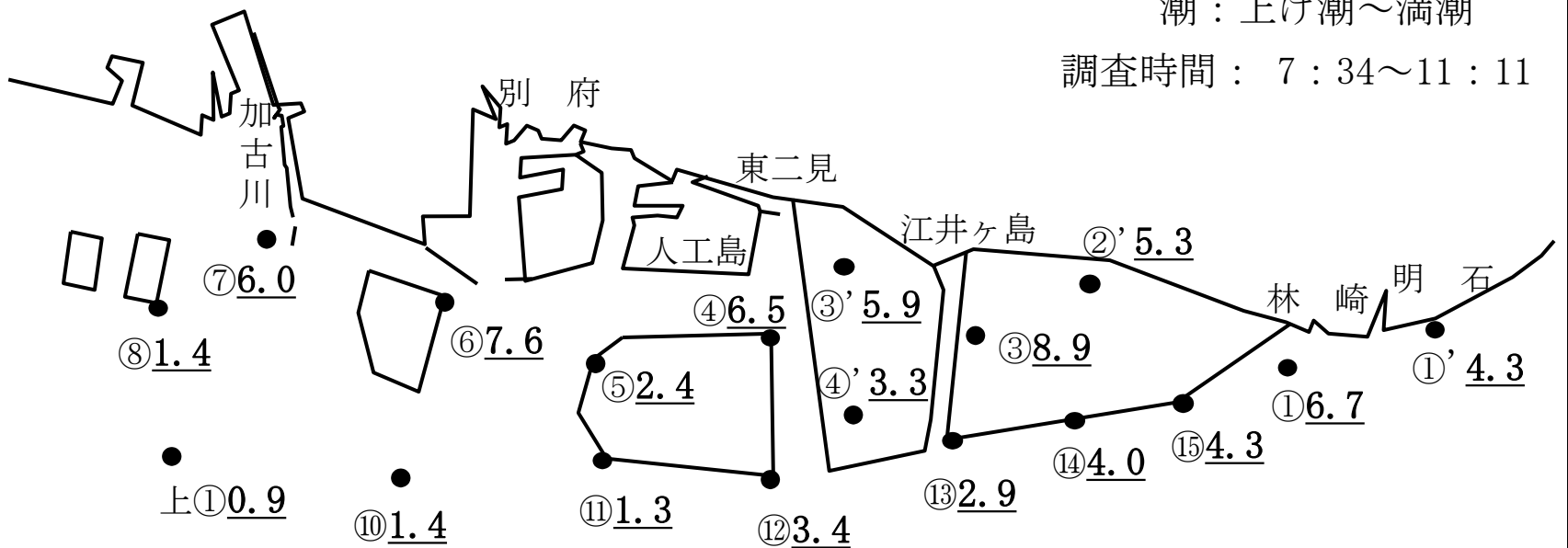
西播地先					
伊保地	水温	14.4℃	伊保沖	水温	14.7℃
	窒素	1.6		窒素	4.2
	リン	0.42		リン	0.42
白浜地	水温	15.0℃	白浜沖	水温	15.0℃
	窒素	2.8		窒素	1.4
	リン	0.44		リン	0.43

2021年12月16日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮～満潮

調査時間：7:34～11:11



水温図

